

番号	担当部署	担当課	事業名	事業概要	自殺対策の視点を加えた事業案
1	総務部	総務課	住民への相談事業	住民への相談事業(来館・電話)・法律・税務相談	▼各種相談を総合的に受ける窓口は、自殺者の多くが複数の問題を抱えていることから、潜在的な自殺リスクの高い人々をキャッチする上で重要となる。 ▼相談対応を行う職員に ゲートキーパー研修 を受講してもらい、連携する可能性のある地域の相談機関等に関する情報を知っておいてもらうことで、その職員がつなぎ役としての対応を取れるようになる可能性がある。
2	総務部	総務課	本庁庁内案内業務等委託事業	別館の総合案内にて庁内案内業務を行うとともに、窓口等を案内するフロアマネージャーを配置する。	▼どこに相談したらよいか迷っている人が、どの窓口に行けばいいか尋ねてくることも少なくないと思われる。 ▼フロアマネージャーに ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、気づき役としての視点をもちもらうことにつながり得る。
3	総務部	総務課	ワンストップ窓口支援員経費	ワンストップ窓口の運営並びに印鑑登録証明書等の交付及び手数料の収納業務を効率的かつ円滑に行うため、ワンストップ窓口支援嘱託員を設置する。	▼どこに相談したらよいか迷っている人が、どの窓口に行けばいいかと訪れることも少なくないと思われる。 ▼そのため窓口支援嘱託員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、気づき役としての視点をもちもらうことにつながり得る。
4	総務部	総務課	徴収の緩和制度としての納税相談	住民から納税に関する相談を受け付ける。	▼納税や年金の支払い等を期限までに行えない住民は、生活面で深刻な問題を抱えていたり、困難な状況にあたりする可能性が高いため、そうした相談を「生きることの包括的な支援」のきっかけと捉え、実際に様々な支援につなげられる体制を作っておく必要がある。
5	総務部	総務課	嘱託職員費	自治体税の徴収及び収納事務を行う。	▼相談を受けたり徴収を行う職員等に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、気づき役やつなぎ役としての役割を担えるようになる可能性がある。
6	総務部	総務課	国民年金受付け相談員経費	国民年金の届書、申請書、基礎年金裁定請求書の受付、相談対応等を行う。	▼相談を受けたり徴収を行う職員等に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、気づき役やつなぎ役としての役割を担えるようになる可能性がある。
7	都市計画部	住宅課	公営住宅家賃滞納整理対策	公営住宅の滞納使用料の効率的収納と自主納付を促進し、住宅使用料収納率の向上を図るため、住宅課に公営住宅使用料収納嘱託員を設置する。	▼家賃滞納者の中には、生活面で深刻な問題を抱えていたり、困難な状況にあたりする可能性が高いため、そうした相談を「生きることの包括的な支援」のきっかけと捉え、実際に様々な支援につなげられる体制を作っておく必要がある。 ▼相談を受けたり徴収を行う職員等に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことにより、気づき役やつなぎ役としての役割を担えるようになる可能性がある。
8	都市計画部	住宅課	高齢者集合住宅の運営	都道府県と協力し、公営アパートに相談員を配置したり、段差の解消等に配慮した高齢者向けの住宅を設置するなど、高齢者の暮らしやすい住宅を確保する。	▼独居高齢者は一般的に自殺のリスクが高いため、変化に気づき、然るべき支援先につなげる上での窓口になり得る。 ▼そのため相談員等に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、気づき役やつなぎ役としての役割を担えるようになる可能性がある。
9	文化スポーツ部	文化課	ボランティアセンターとの連絡調整	ボランティアセンターに登録・活動を行う団体に対して補助金を交付し、ボランティア活動の振興を図る。	▼ボランティアに ゲートキーパー研修 を受講してもらい、いざというときのつなぎ先や初期対応等を知っておいてもらうことで、地域の自殺対策（生きる支援）に関わる人材を増やせる可能性がある。
10	文化スポーツ部	健全育成課	青少年プラザの運営（大学生ボランティアによる中高生向け学習支援）	大学生ボランティアが中高生を対象に、各館で週1回、学習支援を行う。	▼年齢が近い大学生と接触する中で、中高生が自身や家庭の問題・悩み等を相談する可能性がある。 ▼相談対応を通じて、中高生の家庭状況を把握するとともに、必要時には地域の支援先へつなぐ等の対応をとり得る。 ▼大学生のボランティアに、 ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、気づき役やつなぎ役としての役割を担ってもらえるようになる可能性がある。
11	文化スポーツ部	健全育成課	心のパートナー派遣事業	地域内の大学で教職を目指している者や心理学等を学んでいる大学生(院生)を適応指導教室に配置し、適応指導教室や要請のあった小・中学校で不登校傾向にある児童生徒の話し相手や学習支援等を行い、児童生徒の自立支援を行う。	▼大学生(院生)に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、自殺リスクのある児童生徒の早期発見と対応を図れるようになる可能性がある。
12	文化スポーツ部	健全育成課	子ども会育成事業	子ども会の組織の活性化、活動の充実を図るため、各会の主事や役員、リーダーの育成に努める。 (1)子ども会主事の委嘱 (2)子ども会主事、子ども会リーダーへの研修会実施	▼主事やリーダー等に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、子どもに対する見守りの強化と、問題の早期発見・早期対応を図れるようになる可能性がある。
13	文化スポーツ部	健全育成課	各種補助金(女性青少年教育費)	(1)子ども会連合会補助金 子ども会活動の活性化を図る。 (2)薬物乱用防止指導員地区協議会補助金 薬物乱用防止のために啓発活動を推進し、地域社会に根ざした活動を効果的に行い、薬物乱用を許さない環境づくりに努める。 (3)青少年団体リーダー派遣補助金 郷土の偉大な先人の魂に触れさせ、リーダーの資質向上と青少年団体活動の推進を図る。	▼薬物を乱用している若者の中には、様々な問題を抱えて自殺リスクの高い子もいる。 ▼指導員に ゲートキーパー研修 等を受講してもらうことで、そうした自殺リスクの高い若者の早期発見・早期対応を図れるようになる可能性がある。
14	文化スポーツ部	健全育成課	女性教育活動推進事業	(1)小学校区に女性学級を開設し、社会参加や地域づくりの推進を図る。 (2)女性リーダー研修・生涯学習リーダー研修を実施する。 (3)女性の生活、教養、文化の向上を図るため、女性団体の活動を支援する。	▼女性学級の参加者や地域の女性リーダー等に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、地域で自殺のリスクを抱える女性を早期に発見し、対応できるようにするなど、女性向け支援の推進につながる可能性がある。
15	生活振興部	地域振興課	地域消費者サポーター育成事業	悪質商法やうそ電話詐欺などのトラブルを防ぐ情報を、自分の身近な人に伝えることを主な活動とする「地域消費者サポーター」を育成する。	▼サポーターに ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、地域住民と支援者とのつなぎ役としての機能を果たしてもらえるようになる可能性がある。
16	生活振興部	地域振興課	行政出前トーク事業	住民からの要請により、職員が地域に出向いて行政に関する情報を分かりやすく伝えるとともに、住民の意見や提言などを伺いながら、ともにまちづくりを考えていくために、双方向型の広報・広聴を行うことにより、住民の声を行政施策に反映させる。	▼「 ゲートキーパー の役割」や「地域自殺対策の取組」等を、トーク事業のメニューに加えることで住民への啓発の機会となり得る。

番号	担当部署	担当課	事業名	事業概要	自殺対策の視点を加えた事業案
17	生活振興部	男女共同参画推進課	DV対策基本計画推進事業	(1)デートDV講演会 (2)若者による若者のためのデートDV講座 (3)DV防止庁内連絡会議 (4)デートDV防止啓発誌の作成・配布 (5)カードサイズDVリーフレットの配布 (6)パープルリボンキャンペーン (7)DV防止対策委員会 (8)DV被害者同行支援（配偶者暴力相談支援センター業務）	▼DV被害者は、一般的に自殺リスクの高い方が少なくない。 ▼講演会や講座等でDVと自殺リスクとの関連性や自殺対策について言及をすることで、DV被害者への支援に携わる関係者の間で理解や認識を深めてもらうことができる。 ▼DV被害者の支援にあたる職員に、 ゲートキーパー研修 を受講してもらうことにより、必要に応じて適切な機関へつなぐ等の対応について一層の理解を深めてもらうことで自殺リスクを抱えた人への支援の拡充を図れる。
18	生活振興部	産業振興課	SOHO事業者支援施設の管理運営	SOHO事業者を育成支援する拠点施設の管理運営を行う。	▼自営業者は相談へのハードルが高いことがこれまでの実態調査から明らかになっている。 ▼施設の管理運営を行う職員に、 ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、自殺のリスクとなりにかかれない問題等を抱えた自営業者から相談を受けた際には、その職員が適切な機関につなぐ等、気づき役、つなぎ役としての役割を担えるようになる可能性がある。 ▼自営業者を対象に、様々な生きる支援に関する相談先の情報を掲載したリーフレット等を配布することで、対象者への情報周知を図ることができる。
19	生活振興部	産業振興課	農業アドバイザー配置事業	アドバイザーが生産から流通・加工までの幅広い視点から指導・助言を行う。	▼農業アドバイザーに ゲートキーパー研修 を受講してもらうことにより、指導・助言の機会に自殺リスクのありそうな生産者から相談を受けた場合には、農業アドバイザーが適切な相談機関につなぐ等の対応を取れるようになる可能性がある。
20	福祉部	福祉推進課	保護司会補助金	地域の保護司会の健全な運営を図るため、各保護司会に対し補助金を支給する。	▼犯罪や非行に走る人の中には、日常生活上の問題や、家庭や学校の間関係にトラブルを抱えており、自殺のリスクが高い方も少なくない。 ▼保護司の方に ゲートキーパー研修 を行うことで、対象者が様々な問題を抱えている場合には、保護司が適切な支援先へつなぐ等の対応を取れるようになる可能性がある。
21	福祉部	福祉推進課	生活安定支援事業	生活相談や就職・進学支援等の支援事業を、社会福祉協議会に委託して実施する。	▼社会福祉協議会の職員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことにより、生活相談や就職等の相談対応において、自殺対策の視点も加えて、問題を抱えた地域住民の早期発見と支援の推進を図ることができる。
22	福祉部	福祉推進課	保健福祉総合相談・案内窓口事業	住民の福祉や利便性向上のため、総合的な保健・福祉相談サービスの提供や案内等を行う。	▼相談対応を行う職員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、自殺のリスクを抱えた（抱え込みかねない）相談者がいた場合に、その職員が適切な機関につなぐ等、気づき役としての役割を担えるようになる可能性がある。
23	福祉部	福祉推進課	ひとり暮らし等施策（登録ボランティアによる安否確認）	地域の登録ボランティアによる話相手及び安否確認	▼住民ボランティアに ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、問題に気づき対処し得る地域の人材の養成に寄与し得る。（○：ボランティアにつなぎ先等の情報を共有しておく必要がある） ▼住民ボランティアの育成を通じて、地域全体の気づきの力を高めていくことにより、地域における気づき役となる担い手を拡充することにつながり得る。
24	福祉部	福祉推進課	高齢者福祉相談員設置事業	ひとり暮らし高齢者等安心通報システム及び福祉電話利用者等に対する安否確認や、高齢者の相談に応じ、高齢者の社会参加の促進と福祉の増進を図る。	▼高齢者福祉相談員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことにより、自殺リスクの高い高齢者の早期発見と対応の更なる推進を図ることができる。
25	福祉部	福祉推進課	愛のふれあい会食事事業	家に閉じこもりがちな高齢者とのふれあいを深める目的で、ボランティア団体等が会食を行うときに、デイサービスセンター等で調理した食事を提供することにより、高齢者の孤独感の解消、健康の保持及び生きがいづくりを促進し、高齢者の福祉の増進を図る。	▼食事の提供機会を利用し高齢者の生活実態を把握することで、孤独死等の予防を図ることができる。 ▼また、食事を提供する職員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、対象者の中に自殺のリスクの高い高齢者がいた場合には、その職員が適切な機関へつなぐ等、気づき役、つなぎ役としての役割を担えるようになる可能性がある。
26	福祉部	福祉推進課	寝たきり高齢者等理髪・美容サービス事業	在宅の寝たきりの高齢者に対して、理髪サービス又は美容サービスを行い、保健衛生の向上及び福祉の増進を図る。	▼理美容サービスを行う業者に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、理美容業者が高齢者とその家族が抱える問題等に気づき、必要に応じて適切な窓口へつなぐ等、気づき役、つなぎ役を担えるようになる可能性がある。
27	福祉部	福祉推進課	地域リハビリテーション活動支援事業	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士といったリハビリテーションに関する専門職が、高齢者の能力を評価し改善の可能性を助言するなど、他機関と連携しながら介護予防の取組を総合的に支援する。 1 住民の通いの場、高齢者クラブ等を対象に、集団及び個別指導の実施 2 身体能力低下のある高齢者の生活実態把握 3 実務者会議へ参加し、ケアマネジメント支援の実施 4 支援に関わるボランティア等への研修	▼各種専門職のスタッフに ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、支援対象の高齢者の抱える問題や異変を早期に察知し、適切な機関へつなぐ等の対応を強化することができる。
28	福祉部	介護保険課	介護職員人材確保推進事業	地域内の介護事業所等に勤務する職員の技術向上を図ることにより、介護サービスの維持及び向上を目指す。	▼要介護の当事者ならびにその家族の中には、様々な問題を抱え、自殺リスクの高い人がいる可能性がある。 ▼介護職員に ゲートキーパー研修 を受講してもらい、自殺対策の視点も加えてもらうことで、適切な機関へつなぐ等の対応の強化につながる可能性がある。 ▼介護は従事者にかかる負担も大きいので、ゲートキーパー研修の中で、抱え込みがちな問題や困った時の相談先、ストレスへの対処法に関する情報をあわせて提供することで、支援者（介護職）への支援の充実にに向けた施策にもなり得る。
29	福祉部	介護保険課	認知症サポーター養成講座	誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して、認知症についての正しい知識を持ち、認知症の人や家族を応援する認知症サポーターを養成する。	▼認知症の家族にかかる負担は大きく、介護の中で共倒れとなったり心が生じたりする危険性もある。 ▼サポーターに ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、サポーターがそうしたリスクの早期発見と対応等、気づき役としての役割を担えるようになる可能性がある。
30	福祉部	介護保険課	認知症等見守りメイト養成講座・活動	認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを推進するため、認知症等見守りメイト養成講座を開催し、講座を修了した認知症等見守りメイト（ボランティア）が、認知症と思われる高齢者等の見守りや家族への支援を行う。	▼認知症の家族にかかる負担は大きく、介護の中で共倒れとなったり心が生じたりする危険性もある。 ▼見守りメイトに ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、見守りメイトがそうしたリスクの早期発見と対応等、気づき役としての役割を担えるようになる可能性がある。
31	福祉部	介護保険課	介護予防運動指導者養成講座	地域住民を対象に、介護予防運動の指導者養成講座を開催することで、各地区単位で実施している介護予防（転倒予防）教室を指導できる人材を育成する。	▼指導者となる住民に ゲートキーパー研修 の受講を推奨し、自殺のリスクに対する気づきの力を高めてもらうことにより、教室参加者の中に自殺のリスクを抱えているような人がいた場合には、行政につなぐ等の対応を推進することにつながる。

番号	担当部署	担当課	事業名	事業概要	自殺対策の視点を加えた事業案
32	福祉部	長寿支援課	街中お年寄り愛所の設置	高齢者が疲れたときにひと休みしたり、気軽にお店で世間話をしたりできるよう、地域内の店舗の片隅に椅子を置くなど「ひと休みスペース」を設置する。事業所や店舗の関係者に世間話を通じて相談等に応じてもらうことで、行政をはじめ関係機関との橋渡し役を担ってもらう。	▼スペースを提供する事業所や店舗等の関係者に ゲートキーパー研修 を行うことで、相談等に応じる際の気づきの力を高めてもらうとともに、気になる人がいた場合には、関係機関へ情報を共有したり、つないだりといった対応を取れるようになる可能性がある。
33	福祉部	障害者福祉課	訪問入浴事業	重度の心身障害者の保健衛生の向上及びその家族の身体的・精神的な負担の軽減を図る。	▼訪問入浴の介助を行う職員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、障害者とその家族が何か問題等を抱えている場合には、その職員が適切な窓口へつなぐ等のための対応を取れるようになる可能性がある。
34	福祉部	障害者福祉課	障害児地域療育等支援事業	在宅障害児等のライフステージに応じた地域での生活を支援するために、都道府県が指定した支援施設の有する機能を活用し、療育・相談体制の充実を図るとともに、各種福祉サービスの提供の援助、調整を行い、障害児等及びその家族の福祉の向上を図る。	▼障害児の直面する様々な生活上の困難への対応負担から、保護者自身が疲弊し自殺リスクを抱える可能性もある。 ▼対応を行う職員に ゲートキーパー研修 を実施することで、家族の状況把握の際に自殺対策の視点についても理解してもらうことで、問題を抱えている場合には、その職員が適切な窓口へつなぐ等、対応の強化につながり得る。
35	福祉部	障害者福祉課	障害者差別解消推進事業	障害を理由とする差別の解消を推進するため、障害者基幹相談支援センターに相談窓口を設置するほか、住民や民間事業者等に対し周知・啓発を行う。	▼センターで相談対応にあたる職員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、必要時には適切な機関へつなぐ等の対応について理解を深めてもらい、自殺リスクを抱えた人の把握、支援を拡充していくことができる。
36	福祉部	障害者福祉課	障害者基幹相談支援センター事業	障害者等の福祉に関する様々な問題について障害者（児）及びその家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行う。加えて、関係機関との連絡調整、その他障害者等の権利擁護のために必要な、相談支援の基幹となる相談支援センターを運営する。また、虐待防止センターの機能も持つ。	▼センターで相談対応にあたる職員に、 ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、自殺対策の視点についても理解してもらい、問題を抱えている場合には適切な窓口へつなぐ等、職員の相談対応の強化につながり得る。
37	福祉部	障害者福祉課	障害者相談員による相談業務（身体・知的障害者相談員）	行政より委託した障害者相談員による相談業務	▼各種障害を抱えて地域で生活している方は、生活上の様々な困難に直面する中で、自殺のリスクが高まる場合もある。 ▼相談員を対象に ゲートキーパー研修 を実施することで、そうした方々の状況を察知・把握する上での視点を身に付けてもらい、必要な場合には適切な支援先につなぐ等、相談員が気づき役、つなぎ役としての役割を担えるようになる可能性がある。
38	福祉部	障害者福祉課	手話奉仕員養成事業	聴覚障害者、聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度についての理解ができ、手話で日常生活に必要な手話語彙及び手話表現技術を習得した手話奉仕員を養成する。	▼手話奉仕員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことにより、障害者の中で様々な問題を抱えて自殺リスクが高まった方がいた場合には、適切な支援先につなぐ等、手話奉仕員が気づき役やつなぎ役としての役割を担えるようになる可能性がある。
39	福祉部	障害者福祉課	手話通訳者等派遣事業	聴覚障害者・中途失聴者・難聴者が社会生活において意思疎通を図る上で、支障がある場合に手話通訳者・手話奉仕員・要約筆記者を派遣し、コミュニケーションの確保、社会参加及び緊急時の支援を行う。	▼通訳者や奉仕員等の支援員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、対象者の抱える自殺リスクに早期に気づき、必要時には適切な機関へつなぐ等、支援員が気づき役、つなぎ役としての役割を担えるようになる可能性がある。
40	福祉部	障害者福祉課	盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業	視覚機能と聴覚機能に障害を併せ持つ重度重複障害者（盲ろう者）に対して、コミュニケーション支援及び移動介助の技術を習得した登録通訳・介助員を派遣し、コミュニケーション及び移動等の支援を行う。	▼通訳者や介助員等の支援員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、対象者の抱える自殺リスクに早期に気づき、必要時には適切な機関へつなぐ等、支援員が気づき役、つなぎ役としての役割を担えるようになる可能性がある。
41	福祉部	障害者福祉課	ろうあ者福祉相談員設置事業	地域に居住する重度聴覚障害者の各種行政手続き、生活相談等に応じ、適切な助言、指導を行う。	▼福祉相談員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、必要時には適切な機関へつなぐ等、福祉相談員がつなぎ役としての役割を担えるようになる可能性がある。
42	子ども家庭部	子育て支援課	学童保育事業	就業等により昼間保護者のいない家庭の小学校児童を放課後及び長期休業中に学童保育所で保育する	▼学童保育を通じて、保護者や子どもの状況把握を行う機会が多々あり、悩みを抱えた子どもや保護者を把握する接点になり得る。 ▼学童保育所の職員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、問題を抱えている保護者や子どもがいた場合には、その職員が必要な機関へつなぐ等の対応が取れるようになる可能性がある。
43	子ども家庭部	子育て支援課 保育課	保育の実施(公立保育園・私立保育園など)	・公立保育園・私立保育園などによる保育・育児相談の実施 ・保護者による家庭保育が困難な乳幼児の保育に関する相談	▼保育士に ゲートキーパー研修 を実施することで、保護者の自殺リスクを早期に発見し、他の機関へつなぐ等、保育士が気づき役やつなぎ役としての役割を担えるようになる可能性がある。
44	子ども家庭部	保育課	保育料等納入促進事業	(1)保育所等々による保育料納入勧奨指導 保育所長等により、催告状や口座振替不能の際の納入通知書を保護者へ手渡すとともに、滞納者への保育料の納入を呼びかける。(委託) (2)納入しやすい環境整備 保育料の滞納縮減に努めるとともに、納入しやすい環境を整える。 (3)滞納整理の強化 保育料等収納嘱託員による滞納者の実態調査や夜間訪問を実施し、収納業務を強化する。	▼保育料を滞納している保護者の中には、生活上の様々な問題を抱えて払いたくても払えない状態、かつ、必要な支援につながない方もいると思われる。 ▼収納担当の職員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、そうした保護者に気づいた時には適切な機関へつなぐ等、収納担当職員が気づき役やつなぎ役としての役割を担えるようになる可能性がある。
45	子ども家庭部	保育課	子育て応援隊支援事業	様々な分野・地域で子育てを応援する地域の活動団体や事業者等に「子育て応援隊」に加入していただき、地域における子育て支援を推進するとともに、それらの活動の促進を図る。	▼応援隊参加団体や事業者に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、問題を抱える保護者がいた場合には、行政につなぐ等、気づき役やつなぎ役としての役割を担えるようになる可能性がある。
46	子ども家庭部	保育課	保育コーディネーター配置事業	保育コーディネーターを配置し、保育を必要としている世帯の相談に応じ、それぞれのニーズに合ったサービスの情報を提供することで保護者の選択肢を増やすとともに、待機児童の減少を図る。	▼コーディネーターに ゲートキーパー研修 を実施することで、保護者から相談があった場合には適切な機関につなぐ等、コーディネーターが気づき役やつなぎ役としての役割を担えるようになる可能性がある。
47	子ども家庭部	子ども家庭支援センター	ファミリー・サポート・センターの運営	・育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人の会員組織化 ・子育てサポートひろば事業(施設での子ども一時預かり)	▼会員を対象に ゲートキーパー研修 を実施することで、子育てに関連する悩みや自殺リスクの把握についての理解が深まり、必要時には専門機関の支援につなげるなど、気づき役やつなぎ役の役割を担えるようになる可能性がある。
48	子ども家庭部	親子支援課	母子・父子自立支援員設置事業	ひとり親家庭等の相談に応じ、その自立に必要な情報提供及び助言、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行い、生活の安定、児童の福祉の増進を図るため、母子・父子自立支援員を配置する。	▼自立支援員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、自殺リスクの高いひとり親家庭を、他の機関へつなぐ等の対応の強化につながり得る。

番号	担当部署	担当課	事業名	事業概要	自殺対策の視点を加えた事業案
49	子ども家庭部	親子支援課	ひとり親家庭等日常生活支援事業	就業等の自立を促進するために必要な事由や疾病などの事由により一時的に生活援助、保育サービスが必要な場合又は生活環境等の激変により、日常生活を営むのに支障が生じている場合に、家庭生活支援員を派遣するなど、ひとり親家庭等の生活の安定を図る。	▼家庭生活支援員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、自殺対策の視点も加えて、支援を必要とするひとり親の早期発見と必要な支援先へのつなぎ等の対応の強化につながり得る。 ▼家庭生活支援員から必要と思われる対象者に、相談先一覧のリーフレット等の資料を配布してもらうことで、生きることの包括的支援に関わる情報を直接届けていくことができる。
50	子ども家庭部	親子支援課	ひとり親家庭等生活支援講習会事業	育児や健康管理などについて学習する生活支援講習会を開催するとともに、個々のひとり親家庭等の相談に応じることにより、生活の中で直面する諸問題の解決や生活の安定を図り、ひとり親家庭等の生活を支援する。	▼家庭生活支援員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、自殺対策の視点も加えて、支援を必要とするひとり親の早期発見と必要な支援先へのつなぎ等の対応の強化につながり得る。 ▼家庭生活支援員から必要と思われる対象者に、相談先一覧のリーフレット等の資料を配布してもらうことで、生きることの包括的支援に関わる情報を直接届けていくことができる。
51	子ども家庭部	親子支援課	家庭児童相談員設置事業	家庭における適正な児童養育、その他家庭児童の福祉の向上を図るための相談、指導を行う家庭児童相談員を配置する。	▼相談員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、自殺のリスクを早期に察知し必要な機関へつなぐ等の対応を強化できる可能性がある。
52	健康部	保健予防課	精神保健福祉推進事業	(1)精神保健福祉法及び障害者総合支援法の申請・届出 (2)精神保健福祉相談・訪問指導 ①精神保健福祉相談 ②訪問指導 ③普及啓発活動 ・精神保健福祉ボランティア養成講座の開催 ・心の健康づくり講座等の開催 (3)精神保健デイ・ケア（在宅の精神障害者の社会復帰訓練を行う） (4)精神障害者家族会運営に対する助言、指導 (5)医療観察法処遇者及び終了後の要支援者への対応	▼相談対応や訪問指導を行う職員や、精神保健福祉ボランティア等に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、必要時には他の支援機関につなぐ等、その職員や精神保健福祉ボランティアが気づき役やつなぎ役としての役割を担えるようになる可能性がある。
53	健康部	保健予防課	社会復帰支援	・精神障害者地域生活安定化支援事業（地域で生活する障害者に対し、病状悪化による問題行動やトラブル発生等を防ぐために集中的な支援を実施） ・精神障害者就労支援事業/精神障害者自立生活体験事業/精神障害者居住支援事業	▼精神障害を抱えた方は生活を送る上での様々な困難や課題に直面し、自殺リスクの高い方も少なくない。 ▼地域活動支援センターの職員に ゲートキーパー研修 等を受講してもらい、相談者のニーズを踏まえた寄り添い型の支援を提供することにより、対象者の自殺リスクの軽減に寄与し得る。
54	健康部	保健予防課	医療社会事業	医療社会事業相談員等が、保健・医療の場において患者や家族の抱える経済的、心理的、社会的問題の解決・調整を援助することにより、社会復帰の促進を図る。	▼相談員に ゲートキーパー研修 を受講してもらい、自殺の問題について理解を深めてもらうことにより、自殺リスクを踏まえた必要時の適切な対応の推進につながり得る。
55	健康部	保健予防課	健康づくり推進員支援事業	高齢者クラブの運営等を通じて、住民参加による保健活動を推進するとともに、健康づくり推進員がひとり暮らしや閉じこもりがちな高齢者と交流を図り、助け合い支えあう地域づくりを推進するために健康づくり推進員を養成し、健康づくり推進員協議会の活動を支援する。	▼推進員に ゲートキーパー研修 を受講してもらい、地域の高齢者の状態把握について理解を深めてもらうことにより、推進員がリスクの高い高齢者を行政につなぐ等の対応が取れるようになる可能性がある。
56	土木部	建設課	公営住宅建設事業	住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、住民の生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的に公営住宅を建設する。	▼住居は生活の基盤であり、その喪失は自殺リスクを高める。 ▼公営住宅への入居に際して申請対応等を行う職員に、 ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、入居申請者の中に様々な困難を抱えた住民がいた場合には、その職員が他機関へつなぐ等の対応をとれるようになる可能性がある。
57	教育委員会事務局	教育推進課	放課後スクール事業	放課後等の教室・校庭・体育館など学校施設を有効に活用し、様々な活動を実施する。	▼子どもや親がクラスや学齢等を超えて交流できる機会を提供することは、地域で住民同士が助け合える関係を構築する上での貴重な機会となる。 ▼指導員を対象に ゲートキーパー研修 を行うことで、子どもを見守る上での視点を身に付けてもらうことによって、指導員が自殺リスクの早期発見とつなぎ役を担えるようになる可能性がある。
58	教育委員会事務局	教育研究所	登校サポートボランティア派遣	不登校の児童・生徒に対し、元校長や教員経験者、臨床心理士等が連携し、一日も早い学校への復帰を目指して、一人ひとりの状況に応じた学習やグループ活動を実施する。児童生徒が自らの生活を立て直し、自主・自立の力を発揮できるよう支援する。	▼不登校の子どもは本人だけでなく、その家庭も様々な問題を抱えている可能性がある。 ▼ボランティアに ゲートキーパー研修 等を受講してもらうことで、児童生徒の家庭状況にも配慮しながら、問題を察知した場合には適切な機関につないでもらう等、ボランティアが気づき役、つなぎ役としての対応をとれるようになる可能性がある。
59	教育委員会事務局	教育研究所	不登校児童生徒支援事業	(1)不登校児童生徒(公立学校に通う小中学生)を対象にした適応指導教室を設置 (2)不登校児童生徒の集団再適応、自立を援助する学習・生活指導等の実施 (3)不登校児童生徒の保護者に対する相談活動の実施	▼適応指導教室の指導員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、自殺リスクの把握と対応について理解が深まり、不登校児童生徒の支援の拡充につながる可能性がある。 ▼ ゲートキーパー研修 受講により、不登校児童生徒の保護者から相談のあった場合に、指導員が必要に応じて適切な機関へつなぐ等の対応をとれるようになる可能性がある。
60	危機管理部	安心安全課	通学路安全対策事業	通学時の安全確保のため、スクールバスの運行やスクールガードリーダーなど見守りボランティア体制の整備及び通学路の危険箇所の把握及び改善を図る。	▼見守りボランティアに ゲートキーパー研修 を受講してもらうことで、地域、特に子どもたちに関して、見守りボランティアが気づき役としての視点を持ってもらうことにつながり得る。
61	水道局	上下水道課	水道料金徴収業務	・料金滞納者に対する料金徴収（集金）事務 ・給水停止執行業務	▼水道使用料を滞納している人への督促業務等を含むのであれば、徴収員に ゲートキーパー研修 を受講してもらうことにより、問題を抱えて生活難に陥っている家庭に対して、徴収員が必要に応じて他機関へつなぐ等の対応を取れるようになる可能性がある。 ▼滞納者に対する水道料金票に、生きる支援に関する相談先情報を掲載することで、住民に対する情報周知を図れる。